

公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団

2021年度 調査研究事業

在宅医療推進のための在宅医療に係るデータ開発 /
在宅医療に関する市民・専門職啓発事業

報 告 書



JHHCA

Japan Home Health Care Alliance

1 概要と成果

日本在宅ケアアライアンス副理事長
武田俊彦

本事業は、今年度新たに取り組むこととした事業である。

この事業の目的は、在宅医療に係るそれまでのデータをまとめて様々な目的に活用することとし、特にエッセンスについては一般向けの在宅医療普及のためのデータブックにすることを目標としている。

このため、本年度は、まず日本在宅ケアアライアンス加盟 19 団体に在宅ケア関連のデータの提供をお願いし、どのようなデータがあるかを収集するとともに、おおまかな分類を行い、見える化を行うことにより、どのようなデータが存在していないか、これからどのようなデータを整備しなければいけないか、まであきらかにすることを目的とした。

今年度は、広く委員の推薦を求めて、幅広い専門家、総勢 34 名からなる委員会を組織してまず第 1 回の委員会を開催し、全員からデータ収集・データ整備の現状と課題についての考え方を発言していただいた。

それに基づき、各委員の所属する団体等の保有する、あるいは公開しているデータについて提供いただくとともに、アライアンスのフォーマットに従ってデータシートと課題シートを提出いただくこととした。

この結果、各委員、各団体の協力を得て 80 種類のデータ、25 項目の課題シートをまとめることが出来た。これは在宅ケアに関するデータ収集としてはかつてない規模であり、関係各位のご協力に心からお礼を申し上げたい。今回の結果報告には、そのすべてを掲載しているので、ご参照いただければ幸いである。

一口にデータと言っても、在宅医療の有用性を示し、一般の方々に広く在宅医療を知ってもらうためのデータから、専門職種として活用できる専門性の高いデータ、さらにデータベースとなって必要に応じ参照あるいは検索することができるデータなどがある。これらをどう整理していくかが一つの課題である。

また、それぞれのデータがどういう意味を持つか、どう役立てるべきか、についてもさらに分析をしていく必要性も明らかになり、このためには単にデータの提供を求めるだけではなく、データの分析収集を組織的に行っていく必要性も浮き彫りになったと思う。

これらの課題は、来年度以降事業を発展的に充実させていくことによって取り組むべきものであり、そのための日本在宅ケアアライアンスの機能・体制の強化も必要になるものと思われる。

2 事業概要

事業実施機関

【機関名・代表者名、理念、沿革・歴史、活動内容等】

1. 機関名・代表者名

機関名：一般社団法人日本在宅ケアアライアンス

代表者：新田國夫（理事長）

2. 理念

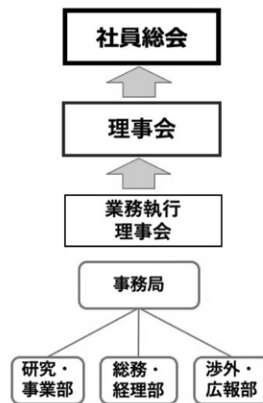
在宅ケアにかかわる専門職・学術団体等による多職種の連合体として、以下のことを目指している。

- 1) 在宅ケアの質の向上及び普及
- 2) 連携における課題の共有と解決
- 3) 関連団体のネットワーク化と協働的取り組みの促進

3. 組織図（右図参照）

（一社）日本在宅ケアアライアンス 加盟団体・会議体

- 一般社団法人 全国在宅療養支援医協会
 - 一般社団法人 全国在宅療養支援歯科診療所連絡会
 - 一般社団法人 全国訪問看護事業協会
 - 一般社団法人 全国薬剤師・在宅療養支援連絡会
 - 一般社団法人 日本介護支援専門員協会
 - 一般社団法人 日本ケアマネジメント学会
 - 一般社団法人 日本在宅医療連合学会
 - 一般社団法人 日本在宅栄養管理学会
 - 一般社団法人 日本在宅ケア学会
 - 一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会
 - 一般社団法人 日本訪問リハビリテーション協会
 - 一般社団法人 日本老年医学会
 - 公益財団法人 日本訪問看護財団
 - 公益社団法人 全国国民健康保険診療施設協議会
 - 公益社団法人 全日本病院協会
 - 特定非営利活動法人 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク
 - 特定非営利活動法人 日本ホスピス緩和ケア協会
 - 特定非営利活動法人 日本ホスピス・在宅ケア研究会
 - 日本在宅ホスピス協会
- 計19団体



4. 沿革・歴史

2015年「在宅医療推進のための共同声明」に賛同した在宅医療に深く関わる15団体（当時）によって、任意団体として設立された。我が国で在宅医療を普及推進させるための専門職・学術団体などによる連合体として、制度・政策提言、社会啓発、在宅医療に関する研究・教育、倫理的問題の検討を推進。2020年、一般社団法人として設立。

5. 活動内容

全国在宅医療会議の提唱する「重点3分野」に対応して、以下の活動を推進している。

- 1) 国との情報交換・意見交換の定期的実施
- 2) 課題解決型の委員会活動
- 3) 多職種連携やエビデンスの構築に関する研究活動
- 4) 普及啓発、広報
- 5) その他、在宅医療の普及、推進、向上のために資する活動

【事業概要】在宅医療推進のための在宅医療に係るデータ開発/在宅医療に関する市民・専門職啓発事業

1. 実施体制

本事業は、日本在宅ケアアライアンスが勇美記念財団から受託して実施したものである。日本在宅ケアアライアンス内において、「データブック委員会」を立ち上げ、本事業を実施した。

2. 事業推進責任者

武田俊彦（日本在宅ケアアライアンス副理事長）

3. 事業内容

アライアンスに加盟する多職種団体を中心として、データ集作成のワーキングを担う委員会（データブック委員会）を組織し、委員会を開催するとともに、各団体の保有するデータの把握と収集を行った。具体的データの依頼・収集は日本在宅ケアアライアンス事務局と各団体との間での連絡体制を構築し、その体制を活用して行った。年度当初段階の計画と、現時点での進捗を下記に記す。

① 各専門職団体の保有するデータの把握と収集

各専門職団体の保有する在宅ケア関連データについて提供を依頼する

各専門職団体のネットで公開しているデータの有無等について情報提供を依頼する

各専門職団体を通じて収集されたデータを整理する

必要なデータがない場合、ワーキンググループに諮った上で、データ作成を依頼する

●進捗：アライアンスの加盟団体を中心とした各専門職種団体に、在宅ケアに関連するデータ及び、今後必要となるデータ等の課題を、アライアンス事務局が作成したシートに入力する形で情報の共有を行なった。本報告書は、このデータシートを主に掲載する。

② 国の保有するデータの提供依頼

国の保有するデータ、国が公開しているデータ等について、国に対してデータの提供を依頼する。

●進捗：国が現在公開している在宅ケア関連のデータについては、第1回委員会(2021/10/29)において、武田座長からの報告があった。本報告書において、それらのデータの抜粋を掲載する。

③ 収集されたデータを基に、データブックを作成する。そのデータブックを広く配布し、在宅医療の推進を図る。

④データブックの配布のほか、多様な普及活動、例えば市民向けの積極的な広報活動を行う。

●進捗：本報告書段階では、収集したデータの簡単な一覧を掲載した。今後、「データブック」という冊子形態か、あるいは web 上での公開となるか、データのプラットフォームのあり方を検討し、専門職及び市民への多様な普及活動を図っていく。また、普及の際に活用されるような、噛み砕かれたわかりやすいデータの分析のあり方についても、検討していく。

4、会議等開催実績（1回）

データブック委員会（1回）2021/10/29

具体的データの依頼・収集については、日本在宅ケアアライアンス事務局と各団体との間での連絡体制を構築し、その体制を活用して行った。

令和3年度 日本在宅ケアアライアンス事業「データブック開発事業」委員名簿

武田 俊彦	座長(日本在宅ケアアライアンス 副理事長)
新田 國夫	副座長(日本在宅ケアアライアンス 理事長)

■ お名前	ご職種/分野	ご所属(推薦)団体	ご所属(勤務先など)
佐々木 淳	医師	全国在宅療養支援医協会	医療法人社団 悠翔会
戸原 玄	学識/歯科医師	全国在宅療養支援歯科診療所連絡会	東京医科歯科大学 大学院歯医学総合研究科 歯医学 専攻 老化制御学講座 摂食嚥下リハビリテーション学分野
中根 綾子	学識/歯科医師	全国在宅療養支援歯科診療所連絡会	東京医科歯科大学 大学院歯医学総合研究科
中島 朋子	看護師	全国訪問看護事業協会	東久留米白十字訪問看護ステーション
田口 真穂	学識/薬学	全国薬剤師・在宅療養支援連絡会	横浜薬科大学 レギュラトリーサイエンス研究室/実務実習センター
坪根 雅子	介護支援専門員	日本介護支援専門員協会	ケアプランコスモ
落久保 裕之	医師	日本ケアマネジメント学会	医療法人裕心会 落久保外科循環器科クリニック
小野 宏志	医師	日本在宅医療連合学会	医療法人社団 坂の上ファミリークリニック
北澤 彰浩	医師	日本在宅医療連合学会	公益財団法人伊豆保健医療センター
白山 宏人	医師	日本在宅医療連合学会	医療法人拓海会大阪北ホームケアクリニック
鶴岡 優子	医師	日本在宅医療連合学会	つるかめ診療所
長尾 和宏	医師	日本在宅医療連合学会	医療法人社団裕和会 長尾クリニック
吉田 伸	医師	日本在宅医療連合学会	医療法人博愛会 頼田病院
森 清	医師	日本在宅医療連合学会	東大和ホームクリニック
花本 美奈子	管理栄養士	日本在宅栄養管理学会	栄養ケアサポートLINKのぼりと
熊谷 琴美	管理栄養士	日本在宅栄養管理学会	医療法人正翔会 正翔会クリニック江南
尾崎 章子	学識/老年在宅看護	日本在宅ケア学会	東北大学大学院 老年・在宅看護学
江口 幸士郎	医師	日本プライマリ・ケア連合学会	社会医療法人 天神会 医療法人みらい 今立内科クリニック
鈴木 修	理学療法士	日本訪問リハビリテーション協会	相澤病院 訪問リハビリテーションセンター
飯島 勝矢	医師	日本老年医学会	東京大学 高齢社会総合研究機構/未来ビジョン研究センター
東條 環樹	医師	全国国民健康保険診療施設協議会	北広島町雄鹿原診療所
中尾 一久	医師	全日本病院協会	医療法人社団久英会 高良台リハビリテーション病院
吉江 悟	学識/看護	日本訪問看護財団	東京大学 高齢社会総合研究機構/未来ビジョン研究センター Neighborhood Care
大石 佳能子	コンサルタント	在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク	株式会社メディヴァ
久富 護	医師	在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク	株式会社メディヴァ
井尾 和雄	医師	日本ホスピス緩和ケア協会	医療法人社団在和会 立川在宅ケアクリニック
矢津 剛	医師	日本ホスピス緩和ケア協会	医療法人 矢津内科消化器科クリニック
		日本ホスピス・在宅ケア研究会	
蘆野 吉和	医師	日本ホスピス・在宅ケア研究会	山形県庄内保健所長
藤田 敦子	市民ネットワーク	日本在宅ホスピス協会	NPO法人 千葉・在宅ケア市民ネットワーク ピュア

■ 有識者

長島 洋介	有識者		一般社団法人 未来社会共創センター 協力研究員 奈良女子大学 なら学研究センター 協力研究員 (高齢社会エキスパート、地域プロデューサー)
山岸 暁美	有識者		慶應義塾大学医学部 衛生学公衆衛生学教室 一般社団法人 コミュニティヘルス研究機構